

公表

事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	綾部市子ども発達支援施設「あいむ」		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日		～ 令和8年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援終了児のフォローということで、子どもや保護者とのつながりに切れ目がなく、スムーズに事業を利用開始していただきました。	児童発達支援の職員から引継ぎを受け、子どもの特性や保護者の思いを知り、対応時に配慮するようにしています。	児童発達支援の職員と必要時に連携をしたり、協力を受けたりして対応や支援の方法をを図りたいと思います。
2	活動室2部屋、遊戯室、中庭があり、活動のスペースが充実しており、活動内容や子どもの人数、ニーズに合わせて柔軟な過ごし方ができます。	全員で行う活動を行う、静かな雰囲気の中で集中して宿題に取り組む、体を存分に動かして気分を開放したり刺激を取り込んだりする、外気に触れて遊びを楽しむなど、子どもの様子やニーズに合わせて空間を使い分けています。	安全な環境で安心して過ごせるよう、職員の役割分担に工夫したり、環境設定を行っていかるとよいと考えています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族支援について、相談、助言、保護者交流会などが十分に行えていない。	就労されている保護者が多く、時間をかけて相談を受ける機会が持ちにくい。 保護者交流会を行うための手法を模索中。	個別懇談の機会に、保護者の思いを時間をかけて聞き取るようにする。 保護者交流会の持ち方について、施設内で検討する。
2	活動内容の保護者への周知が十分でない。	毎月発行しているお便りでの伝え方に課題があるのではないかと。思う。	お便りの内容の見直しや掲示物で分かりやすくするなどして、活動内容の周知を図っていく。
3	従業者同士のミーティングや会議の持ち方。	出勤時間、勤務時間の問題。非常勤職員は子どもの支援と記録でほぼ、その日の業務が終了してしまう。 短時間で効率よく会議やミーティングを行わなければならない。	支障のないことは紙面やデータで共有を図る。 業務内容や時間の使い方を工夫して、ミーティングを持つ回数を増やす。